

NPO通信

釜ヶ崎

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構 〒557-0004 西成区萩之茶屋 1-5-4 電話:06(6630)6060

長居公園「適正化」により テントのない公園に

次は大阪城公園「適正化」

大阪市内全域の野宿生活者は・・・

上段左の写真は、1999年8月の長居公園、上段右は2002年9月、長居公園の同じ場所



の写真です。ブルーシートのテントがなくなっているのがお分かりいただけると思います。下2枚の写真は、2002年9月の大阪城公園の様子です。大阪城公園の中は、今年8月現在で655のテントが大阪市によって確認されています。工事写真は、大阪城公園の中に仮設一時避難所を作るためのものです。史跡指定地の中の工事なので、配管工事



1. 巡回相談の実施(平成14年7月末現在)

巡回相談員が市内各所を巡回して野宿生活者に、生活・健康・悩み等の面接相談を実施し、高齢者・病弱者等については、福祉事務所等関係機関との連携の下で福祉的援護を行うとともに、就労意欲・能力がある者等については、自立支援センターへの入所依頼を行っています。

◆ 巡回相談実績(平成11年8月～14年7月末現在)

- ・ 巡回相談面接件数 新規面接 5,730件
再面接 4,838件
合計(延べ) 10,568件
- ・ 自立支援センターへの入所依頼 1,117件
- ・ 受診及び施設入所等の支援 801件

2. 自立支援センターの運営(平成14年7月末現在)

野宿生活者を一定の期間宿泊させ、健康診断、生活相談・指導等を行うとともに、公共職業安定所との密接な連携の下で職業相談・斡旋等を行い、就労による自立を支援しています。

自立支援センター大淀(平成12年10月 2日開所)→定員100人・延入所者数347人

自立支援センター西成(平成12年11月 6日開所)→定員 80人・延入所者数400人

自立支援センター淀川(平成12年12月25日開所)→定員100人・延入所者数370人

3. 仮設一時避難所の運営(平成14年7月末現在)

野宿生活者の自立に向けた支援を行うため、長居公園、西成公園に仮設一時避難所を設置し、公園内の野宿生活者の入所を図り、空きテントや小屋掛けの撤去作業を実施しています。

◎ 仮設一時避難所の運営状況(平成14年7月末現在)

	長居仮設一時避難所	西成仮設一時避難所
入所開始日	平成12年12月29日	平成13年12月25日
施設概要	管理棟2棟、共用棟2棟、 宿泊棟10棟	管理棟2棟、共用棟2棟、 宿泊棟10棟
入所受入者総数	206人	86人
退所者総数	176人	14人
在籍者数	30人	72人

◎ 公園内のテント・小屋掛け(以下、テント等)状況等(平成14年7月末現在)

		長居公園	西成公園
テント等の状況		458件(平成12年8月現在)	251件(平成13年11月現在)
内訳	撤去数	450件	109件
	残存数	8件	142件
テント等居住者数		1名(男1名:女0名)	93名(男89名:女4名)

で地面を掘り返
えすわけに行か
ず、水回り工事
が必要な施設は
人工地盤の上に
建てなければな
らないので、や
や大げさな工事
になっています。

左の囲みは、
大阪市のホーム
ページからの転
載です。ホーム
レス対策を紹介
したものです。3
番の「仮設一時

避難所」の運営状況が、
公園の適正化と関連し
た「ホームレス対策」
です。大阪城公園の仮

設一時避難所は 400 人定員で、11 月に入所が開始される予定です。長居公園の仮設一時避難所は、すでに受け入れはしていませんから、西成・大阪城の2つの公園仮設に入

れる人数はあと約 500 人となります。上に紹介されている「巡回相談員」が 3 年間に公園で面接した野宿生活をしている人の数は、2,553 人（下の表「野宿場所」参照）です

区名	巡回新規面接		1998年概数調査		(a)-(b)
	件数(a)	%	人数(b)	%	
北	988	17.2%	1,079	12.5%	-91
都島	223	3.9%	134	1.5%	89
福島	46	0.8%	26	0.3%	20
此花	42	0.7%	26	0.3%	16
中央	686	12.0%	1,117	12.9%	-431
西	266	4.6%	157	1.8%	109
港	80	1.4%	30	0.3%	50
大正	52	0.9%	19	0.2%	33
天王寺	558	9.7%	1,084	12.5%	-526
浪速	608	10.6%	1,585	18.3%	-977
西淀川	79	1.4%	64	0.7%	15
淀川	172	3.0%	143	1.7%	29
東淀川	150	2.6%	95	1.1%	55
東成	31	0.5%	30	0.3%	1
生野	29	0.5%	41	0.5%	-12
旭	98	1.7%	53	0.6%	45
城東	24	0.4%	26	0.3%	-2
鶴見	90	1.6%	27	0.3%	63
阿倍野	165	2.9%	421	4.9%	-256
住之江	200	3.5%	174	2.0%	26
住吉	60	1.0%	30	0.3%	30
東住吉	264	4.6%	358	4.1%	-94
平野	91	1.6%	31	0.4%	60
西成	728	12.7%	1,910	22.1%	-1,182
総計	5,730	100.0%	8,660	100.0%	-2,930
野宿形態	件数(a)	%	人数(b)	%	(a)-(b)
テント・小屋	2,570	44.9	2,253	26.0%	317
段ボール	1,272	22.2	607	7.0%	665
その他	513	9.0	4,358	50.3%	-3,845
なし	1,375	24.0	1,442	16.7%	-67
計	5,730		8,660	100.0%	-2,930
野宿場所	件数	%	件数	%	
公園	2,553	44.6	2,599	30.0%	
道路	1,489	26.0			
河川敷	427	7.5			
公共施設	268	4.7			
駅	228	4.0			
商店街	206	3.6			
橋下	192	3.4			
その他	367	6.4			
計	5,730				

から、5 分の 1 ということとなります。

左の表では、巡回相談員が 3 年間に新規に野宿生活者と面接した件数と 1998 年 8 月に実施された野宿生活者の概数調査で把握された野宿生活者の人数が示されています。

一見、概数調査当時よりも野宿生活者が減っているように見えますが、西成区の数字を見ても判るように、地域によって把握に偏りがあることが想像されます。「野宿形態」での数字を見ても判るように、今年 4 月まで、テント・小屋・段ボールハウスなどを中心に声掛けをしており、右写

真のような敷物
 だけや何もない人などはあまり相談の対象とされていなかった結果であると思われます。





左写真上は、大阪城仮設一時避難所の居室棟の作業途中、写真中が、西成公園仮設の居室棟で、大阪城公園も同じつくりになります。間口 1.5 メートル、奥行き約 2.2 メートル、合板の仕切りとカーテンの入り口で区切られた空間が個人の占有空間です。



最下段の写真は、西成自立支援センターの居室部分です。この部屋は二段ベッドが4つあり、8人部屋で、ベッド1つが個人の占有空間です。

2 ページで紹介した大阪市のホームレス対策によれば、自立支援センターの定員は全部で 280 人です。巡回相談員の報告の中で明らかにされているように、3年間で 1,117 人が入所しています。



大阪市の野宿生活者対策は、公園の「適正化」を軸に着々と進められていますが、市内全域の野宿生活者総数のことを考えれば、「百年河清を待つ」の感を禁じ得ません。

国土交通省都市・地域整備局公園緑地課長は本年 8 月 26 日、各都道府県・政令都市公園管理担当部長宛に、以下の内容を含む技術的助言を通知しています。「ホームレスが都市公園内にテントな

どの物件を設置している場合、都市公園法などに基づいて単に物件の撤去を行うのみでは、問題の解決につながらない場合が多いため、ホームレスの自立の支援等に関する施策との連携を更に強化することとし、問題解決のための総合的な体制を確立することが望ましい。」

野宿生活者が、公園や路上に留まり続ける背景のひとつとして、こんなこともあるのです。

NPO 釜ヶ崎通信・広報版

2002(平成 14)年 10 月 1 日

<http://npokama.org>
npokama@npokama.org

郵便振り込み口座
口座番号=00900-1-147702
口座名=釜ヶ崎支援機構